

山形県広報誌県民のあゆみ平成30年7月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 平成30年7月号 604号

県民のあゆみ 7月号

特集 若者の結婚の希望を叶えるために
奏であう人 若者たちの移住が活気の始まり
やまがた伝説 最上川

写真キャプション)

子どもの頃から親しんだ教会で挙式したお二人。思い出の教会で、お世話になった「やまがた縁結びたい」の方に近況を報告し、思い出話に花を咲かせました。(表紙撮影協力：山形聖ペテロ教会)

<2から3ページ>

タイトル) **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1) 「やまがた創生」のさらなる加速へ

「大石田村山インターチェンジから尾花沢インターチェンジ」開通式(4月15日 村山市)

県民の期待を集め、東北中央自動車道の**大石田村山インターチェンジから尾花沢インターチェンジ**が開通しました。式典で吉村知事は、「本路線は、観光、物流、産業振興や災害時の緊急輸送など、本県の発展に不可欠な社会資本であり、地域の活性化や県民の皆さんの安全・安心な生活の実現のみならず、東北全体を元気にする。」とあいさつしました。今年度中に**南陽高畠インターチェンジ・山形上山インターチェンジ間、東根インターチェンジ・東根北インターチェンジ間**が開通予定です。今後も観光誘客や企業誘致などに引き続き取り組みます。

2) 中国との交流活性化に向けて

第3回日中知事省長フォーラム(5月11日 札幌市)

「第3回日中知事省長フォーラム」が開催され、日本と中国から、来賓の安倍首相や中国の李克強首相をはじめ、関係する道県知事や省長などが参加しました。吉村知事は、

「観光プロモーションと地方経済振興」をテーマに、おしんのふるさと山形、山形が誇る美食・美酒と温泉、メイド・イン・ヤマガタの工業製品などをPRしました。会議前日には、本県と友好県省である黒龍江省の王代理省長と面談し、双方の経済交流の発展に向けて協力していくことを確認しました。

※王代理省長は、5月15日の黒龍江省第13回人民代表大会第2次会議において、省長に選ばれました。

3) 「日本一美酒県 山形」を証明!

IWC2018「SAKE(さけ)部門」やまがた開催(5月12日から20日まで 山形市ほか)

世界最大規模のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」の日本酒部門の審査会が開催されました。本県は、都道府県別では最多となる3部門で最高位のトロフィーを、17銘柄で金メダルを獲得しました。金メダル受賞数は5年連続で全国一です。今回の開催を機に、より一層「日本一美酒県 山形」の名を世界へ発信し、輸出促進や販路拡大、さらにはインバウンドを含めた観光の誘客など地域経済の発展や交流人口の拡大につなげていきます。

4) おいしく育てね!

「つや姫」「雪若丸」田植えイベント(5月24日 山形市)

デビュー9年目を迎える「つや姫」と、今年本格デビューする「雪若丸」をPRするため、山形市立南山形小学校の5年生54名が、吉村知事と一緒に田植えを行いました。「つや姫」は、全国、そして世界で高い評価を受けています。「雪若丸」はしっかりとした粒感と適度な粘りが両立した新食感が特長で、秋のデビューに向け、期待が高まっています。これからも豊かな自然の中で育つ山形のおいしいお米をアピールし、消費の拡大につなげていきます。

5 交流拡大に向けて

山形・高雄(台湾)チャーター便運航(5月26日から30日まで 東根市・台湾)

文化交流・経済交流等の分野で友好協力の覚書を締結している台湾・高雄市との間で、互いの交流拡大につなげようと、山形空港と台湾の高雄空港を結ぶ初めてのチャーター便が運航されました。山形空港では、やまがた愛の武将隊や県内のゆるキャラなどが観光客を歓迎し、高雄空港では現地の伝統的舞踊による歓迎を受けました。台湾では、吉村知事が県産品や観光誘客拡大のためのトップセールスを行ったほか、一般ツアー参加者は観光を楽しみました。

タイトル) **にっこり知事室！**

北楯大堰は米どころ庄内平野の礎！

美しい水田風景が広がる庄内平野。「つや姫」のルーツ「亀ノ尾」は庄内町が発祥の地なんですよ。

最上義光公の家臣、北館大学助利長公が狩川城主として赴任した400年ほど前、この地は荒地が広がっていたそうです。この地域では、最上川や京田川が周囲の土地より低く水が引けなかったのです。利長公は、水田が作れず困窮していた人々の暮らしを豊かにしたいと、10年もの歳月をかけて、立谷沢川から引水する方法を考えました。山沿いを切り開くなど、心血を注いだ難工事の末に「北楯大堰」が完成したことで、水路が次々と引かれ、庄内平野に多くの新田と集落が誕生しました。石高は従前の9倍に増えたそうです。

庄内平野の礎を築いた利長公は、その功績を称えられ、水神様として「北館神社」にまつられています。狩川城跡の楯山公園から、利長公の銅像が、広大な美田と疎水の悠久の流れを見守り続けています。歴史の魅力を感じる素晴らしい場所です。皆さんぜひ訪ねてみてくださいね。

< 4 から 7 ページ >

タイトル) **特集 若者の結婚の希望を叶えるために**

結婚を望む一人ひとりの希望が叶う社会を実現するため、オール山形で結婚支援の取り組みを進めます。

結婚の現状と若者の結婚の希望

本県の生涯未婚率は、平成27年に男性約23%、女性10%で全国と同様、大幅に上昇しています。例えば男性の場合、30年前は100人のうち未婚者が3人でしたが、今では、23人と約8倍になっています。また、平均初婚年齢も平成28年には、男性30.8歳、女性29.1歳とこちらも上昇の一途をたどっており、30年前と比較して、男性は約3歳、女性は約4歳上昇しています。

一方で、独身者を対象にした県の調査では、結婚したいと思っている若者は約9割に達していますが、その6割は出会いが少ないと感じているという結果になっています。そのため、県では、結婚を望む県民の皆さんに対する出会いの機会拡大に向け、オール山形による結婚支援の取り組みを進めています。

生涯未婚率の推移 出典：厚生労働省「人口動態調査」

昭和60年／山形（女性）2.91％／山形（男性）2.47％
平成2年／山形（女性）2.96％／山形（男性）4.11％
平成7年／山形（女性）3.40％／山形（男性）7.33％
平成12年／山形（女性）3.82％／山形（男性）11.35％
平成17年／山形（女性）4.65％／山形（男性）14.94％
平成22年／山形（女性）6.87％／山形（男性）18.71％
平成28年／山形（女性）10.08％／全国（女性）14.06％／山形（男性）22.81％／全国（男性）23.37％

大幅に上昇

平均初婚年齢の推移 出典：総務省「国勢調査」

昭和60年／山形（女性）25.4歳／山形（男性）28.0歳
平成2年／山形（女性）25.9歳／山形（男性）28.6歳
平成7年／山形（女性）26.2歳／山形（男性）28.7歳
平成12年／山形（女性）26.6歳／山形（男性）29.0歳
平成17年／山形（女性）27.3歳／山形（男性）29.3歳
平成22年／山形（女性）28.1歳／山形（男性）29.9歳
平成28年／山形（女性）29.1歳／全国（女性）29.4歳／山形（男性）30.8歳／全国（男性）31.1歳

上昇の一途

出会いの機会をあなたに！システム活用による支援

やまがた出会いサポートセンターは、平成27年4月に、県や県内全市町村と経済団体などが連携して設立した団体で、全県一体となった結婚支援を行っています。柱となっているのは、システムによる一対一のお見合い支援サービスで、会員登録いただいた方に出会いの機会を提供しています。このほか、専門のスタッフが丁寧に話をお聞きし、相談者に応じて、「やまがた縁結びたい」の紹介、婚活イベント情報の提供など、さまざまな婚活スタイルを提案し、お手伝いしています。

さらに、こうした出会いの機会の提供後も、お見合いから成婚まで、結婚希望者に寄り添ったきめ細かなサポートを行っています。

「そろそろ結婚したい」、「いい人に出会いたい」という方、素敵な出会いを見つけてみませんか。

結婚を望む方を応援する仲人ボランティア

やまがた縁結びたいは、結婚を希望する方に結婚相談からお相手探し、お見合い、成婚に至るまで手厚くサポートするボランティア仲人です。平成30年5月末現在、45の個人・団体が県に登録して活動しています。

経験豊富な専門家が、結婚を希望するご本人のほか、親御さんからの相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

県では、今回紹介した取組みを進めながら、社会全体で結婚を応援する機運づくりを進めていきます。そして、出会いから結婚まで継続的・総合的に支援を行うことで、結婚を望む一人ひとりの希望が叶う社会を実現していきます。

ご登録からご成婚までの流れ

- 01 会員登録 ※手続きはパンフレットまたはホームページでご確認ください。
- 02 センターの専用端末で本人が直接 お相手の方を検索・プロフィールを閲覧 完全予約制
- 03 お相手へお引合せのお申込み
- 04 センターにてお引合せ
- 05 カップル成立 交際スタート
- 06 ご成婚

山形センター 山形市本町2-4-18（ニーズビル2階）

電話 023-687-1972 Eメール otoiwase@ymsc-yamakon.net

庄内支所 鶴岡市錦町13-28スイングⅡ

電話 0235-64-8895 Eメール otoiwase2@ymsc-yamakon.net

成婚者の声

岩城光輝(みつてる)さん・菜穂子(なおこ)さん

母の知り合いが「やまがた縁結びたい」の活動をしていました。その方から一対一で親身になって相談に乗っていただき、結婚に至りました。

いろいろな出会いの形があるとは思いますが、初対面でたくさんの方と会うのが苦手な方は、「やまがた縁結びたい」の方に一番合う方を紹介してもらおうのが、相手のことをじっくり知ることができて良いと思います！

～縁結びたいからのメッセージ～

あなたの出会い・結婚を応援します！

「やまがた縁結びたい」工藤 馨 さん

人生において結婚して新しい家庭を築くことは、とても幸せなことです。そして成婚させるためには、あなたの「本気」「やる気」「努力」が必要だと思います。

出会いは第一印象がとても大切です。笑顔で、相手の良いところを一つでも二つでも見つけましょう。

「やまがた縁結びたい」に相談・申し込みするには

- 1 「県ホームページ」に掲載している「やまがた縁結びたい」の登録者に直接ご連絡ください。
検索ワードに“やまがた縁結びたい”を挿入しクリック！
- 2 または事務局（県子育て支援課）までご連絡ください。

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組 いきいきやまがた 放送のご案内

「若い世代の結婚支援策」について県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

- 山形放送（YBC）7月8日（日曜日）午後4時25分から
- さくらんぼテレビ（SAY）7月15日（日曜日）午後4時から
- 山形テレビ（YTS）7月21日（土曜日）午後3時25分から
- テレビユー山形（TUY）7月28日（土曜日）午後3時から

※放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ ◎ 子育て支援課 電話 023-630-2668

< 6 から 7 ページ >

フル規格新幹線の早期実現を！

奥羽新幹線・羽越新幹線は、本県に新しい活力を呼び込み、将来にわたって発展していくために欠かせない重要な社会基盤です。

今こそ求められる『フル規格』

政府は、新幹線の路線を定めた基本計画を昭和47年と昭和48年に策定しており、両新幹線は、

昭和48年の計画に位置づけられています。速達性・定時性・大量輸送性に優れたフル規格新幹線は、交流人口の拡大や地域産業の活性化に大きく貢献し、地方創生の基盤となるものです。

さらに、リダンダンシー（代替）機能の確保といった国土強靱化の推進や、インバウンド拡大による観光立国の実現などにも大きく貢献します。

本県の将来を担う若い世代のためにも、今こそ、早期実現に取り組む必要があります。

実現に向けた取組み

本県では、平成28年に、オール山形の推進組織「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」を立ち上げました。昨年度までに、県内4地域全てで推進組織が立ち上がり、県全体が一丸となった活動として広がっています。

推進組織を中心に、期待される効果や実現に向けた取組みについて県民の皆さんに理解と関心を深めてもらう「出前講座」や「シンポジウム」、政府への要望活動に加え、新たに、将来を担う若者などの運動参加を促す「地域ミーティング」に取り組みます。子や孫の世代に実現を目指すビッグプロジェクトに、皆さん一緒に取り組みましょう！

フル規格新幹線ってなに？ 山形新幹線と違うの？

時速200キロメートル以上で走り、踏切を設けない高架・立体交差や直線的なルートによる新幹線です。山形新幹線は、線路幅を広げて、新幹線と在来線を直通運転できるようにしたものです。車幅は狭いので、座席は横4席です。フル規格は横5列ですね。

フル規格新幹線の効果

所要時間短縮 ●首都圏や沿線地域との時間距離の短縮 ●滞在時間の拡大
交流人口拡大 ●観光客の増大 ●ビジネスチャンス拡大 ●地域経済活性化
安全・安定輸送 ●風雨、雪などに強く優れた安全性 ●乗客の死亡事故ゼロ

山形新幹線の福島・米沢間のトンネル整備構想

山形新幹線の運休・遅延が最も多く発生しているのが「福島・米沢間」です。JR東日本からは、この区間に全長約23キロメートルのトンネルを整備する構想が示されています。県では、将来のフル規格新幹線実現の足がかりとして、トンネルの早期実現について、皆さんと一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

森や木に触れ親しむ「やまがた木育」を進めます！

森林を守るさまざまな取組み

本県は、森林が約67万ヘクタールと県土面積の約7割を占め、全国一の面積を誇るブナの天然林（約15万ヘクタール）をはじめとする豊かな自然に恵まれています。そして、これらの「美しい豊かな森や自然」と「自然との共生の文化」というやまがたの宝を今日まで大切に守り育ててきました。

県では、地域で生産される木材や、きのこなどの地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活用し、雇用を拡大させ、地域全体の活性化につなげていく「やまがた森林ノミクス」を進めています。

併せて、県民参加の森づくりや森林・自然環境学習を通し、豊かなみどりを守り育むことの大切さを知ってもらう取組みを行っています。このたび、これらの取組みをさらに進めるため、「やまがた木育推進方針」を策定し、「やまがた木育」を進めることとしました。

「やまがた木育」とは

森や自然といったやまがたの宝を守り育てていくためには、森づくりや森林資源の活用を県民みんなで支え、推進していくことが必要です。そのために取り組む「やまがた木育」は、乳幼児からお年寄りまでの全ての世代で森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直す活動です。これにより、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かすことにつなげていきます。

「やまがた木育」に取り組むことにより、森や自然が持つ価値を再認識し、郷土に対する誇りと愛着の心を育みます。また、幼いころから森や自然に感謝できる豊かな心を大切にしていくことで、子どもの視野を広げ、地域を愛する気持ちの礎を築くことを目指します。

皆さん一緒に取り組みましょう！ 「やまがた木育」で取り組む3つの活動

触れる：森や木の良さを五感を使って体感して、森や木に対する興味と関心を育む活動

(写真キャプション)木に触れ、香りや手触りを体感する

創る：植林体験などの森づくりの活動や、木を活用した工作の楽しさと木製品への愛着を育む活動

(写真キャプション)木材を組み立て、ごみステーションを作る

知る：森の働きや木材利用の意義など、科学的な視点も取り入れながら、深く森や木を学ぶ活動
(写真キャプション)木の直径を計測して、森の状態を知る

世代間の交流や活動を通して人と人とが関わることにより、さらに充実した内容にするとともに、一人ひとりのこれまでの経験や、森や木に対する認識、理解度に合わせた活動となるよう進めていきます。

7月に講演会やワークショップを開催するほか、子どもの発達段階に応じた教材を作成し、学校などで活用するなど、やまがた緑環境税を活用して「やまがた木育」を普及させていきます。

問い合わせ ◎ みどり自然課 電話 023-630-2207

< 8から9ページ >

タイトル) **奏であう人** ボリューム 45

撮影場所 佐久間さんが管理する柿畑 (鶴岡市)

キーワード…若者たちの移住が活気の始まり

暮らしと産業を結びつけ、人々の役に立つ“ナリワイ”を通して、自らの生活も成り立たせていきたい。そんな思いと活動で、地域に元気を生み出すIターンのお二人に話をお聞きしました。

※ナリワイ：地域の課題を趣味や特技を活かして解決する小さなビジネス

佐久間麻都香 さん (鶴岡市)

宮城県仙台市生まれ。山形大学農学部卒業後と大学院進学後の2度にわたり、アフリカでの農業普及に従事。その後、鶴岡市に定住し、一年間の農業研修を経て、様々な仕事をする傍ら、柿畑を管理することとなる。現在、放置された柿の木を活用した小さなビジネスを考える「柿守人(かきもりびと)」の代表として活動中。夫とヤギ4頭、ニワトリ4羽、ウサギ2羽、ネコ2匹、リス1匹と暮らす。

写真キャプション)

佐久間さんが山中の柿の木から、お茶用として無農薬の葉を採取している様子。大切な「庄内柿」の農文化を受け継ぎ、発信していきたいという思いから、平地にある柿畑とあわせ、管理が行き届かなくなった農地を借り受けている。

松本 友哉 さん（酒田市）

山口県美祢市生まれ。大阪の大学でデザインを学び、進路を決める時期に東日本大震災が起きる。ボランティア活動に参加したことから、都会より田舎でデザインを活かしたいとの思いが生まれた。高知県でのインターンを経験後、「緑のふるさと協力隊」をきっかけに、2012年から飛島に移住。友人たちと「合同会社とびしま」を設立。地域の力を活かした雇用創生を目指し、さまざまな取り組みを実践している。

写真キャプション)

平成29年度「合同会社とびしま」スタッフ（前列中央が松本さん）。出身地はそれぞれ飛島、県内、東京都、栃木県、山口県と幅広い地域からU・Iターン。さらに今年度から県内・宮城の2人が加わり、20代から30代の計10名で活動している。

地域に暮らすそれぞれの思い

アフリカでの農業普及活動を通して、「農業は生きることに直結している」と実感した佐久間さん。自分にできることを模索する中で、手入れが困難な柿畑に出合い、「柿守人」の活動を始めたと言います。

「現在は、全部で42本の柿の木を管理しています。実を採るだけでなく、青い実から柿渋を、柿の葉から柿の葉茶を、さらに干し柿作りなどさまざまなことにチャレンジしています」。

一方の松本さんは、東日本大震災を機に東北でのボランティアに参加する中で、地域が本来持っている力強さに引かれ、「緑のふるさと協力隊」として飛島へ来たと言います。

「隊員期間の1年間、島のあらゆる仕事を手伝いながら、新しい雇用を作り出したいとの思いで、ほかのU・Iターンの友人たちとともに合同会社とびしまを立ち上げました。副代表として全体を見ながら、専門に学んだデザイン面での業務を担当しています」。

さまざまな活動や仕事を通して地域の役に立ちたい

合同会社とびしまは現在10人ほどの社員数ですが、将来的には、100人規模の雇用を目指しています。さらに1000人単位の、いわゆる「飛島サポーター」を作りたいという目標を掲げ、島内に限らず、全国へ会社PRの範囲を広げていきたいと考えています。その活動について、松本さんが話を続けます。

「会社の事業は、カフェや島の駅とびしまでの飲食提供やお土産販売、観光ガイド、島でのボランティア、伝統行事への参加など多岐にわたります。今年から宿泊施設の経営も始めました。個人的には、漁業権を取得し、サザエ漁を始めました」。

佐久間さんがこれに応えます。

「私もさまざまな仕事をしています。生活と仕事を区別せず、農業を通した複数のナリワイビジネスで必要なお金を得ながら、地域の困りごとの解決などに役立つことができればと思います。それらには、お金に換算できないものがありますから」。

活気が生まれつつある確かな実感

松本さんも地域に役立ち、活気をもたらすことの大切さを話します。

「島には、高齢化や過疎化へのあきらめムードがあります。ですが、産業や文化、暮らしなど、島に魅了された若者が増えることで、確かに活気を取り戻しつつあります」。

「私は10年ほど空き家だった家に住むことになり、その時に地区をあげての歓迎会を開いてもらいました。これをきっかけに地域の交流会が今も継続していて、皆さんがとても喜んでくれています」。

地域の魅力は自然環境もありますが、何よりも、人と人の繋がりや新しい出会いにあると佐久間さんは話します。

お二人とも、若者たちがU・Iターンをきっかけに地域の暮らしに溶け込み、ナリワイを活かしながら自らが動くことで、地域の人々に新しい変化や活気が生まれていることを、日々感じています。

<10 から 11 ページ>

タイトル) 第67号 県議会だより

写真キャプション) 平成30年度広報・広聴委員会の委員

【今回は6つの常任委員会の活動を紹介します】

常任委員会は、議案や請願について詳しく審査する機関です。その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、現地調査など、所管事項について認識を深める活動を行っています。今後も現場の状況を十分に把握し、県政に生かしていくよう努めてまいります。

総務常任委員会

総務常任委員会は、行財政の運営、総合的な企画調整、私学・高等教育、税務、広報、市町村行政、地域振興、交通政策、情報化、統計、危機管理などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、山形空港の利用状況、住宅宿泊事業法に基づく条例制定の考え方、県戦略的広報基本指針を踏まえた戦略的広報の進め方、山形市の中核市移行に向けた県の取組みなどについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、県の発展と県民生活の向上のため、活発な議論を重ねていきます。

写真キャプション) 総務常任委員会の委員

文教公安常任委員会

文教公安常任委員会は、学校教育、社会教育の振興及び警察行政について所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、公立高等学校及び県立中学校の入学選抜における採点ミスに関し、その経過と今後の対応などについて質問が行われるとともに、原因究明と再発防止の徹底が求められました。また、春の交通安全県民運動期間中の事故状況と事故防止に向けた今後の取組みなどについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声をお聴きしながら、学校教育の向上と安全な県民生活の確保に向け、議論を重ねていきます。

写真キャプション) 文教公安常任委員会の審査の様子

厚生環境常任委員会

厚生環境常任委員会は、県民生活に関わる子育て支援や保健、医療、福祉、エネルギー政策、環境保全などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、医薬品の残薬・多剤の解消対策、山形県の特徴を踏まえた自殺対策、イノシシ等の捕獲・生育状況や捕獲のための人材育成の取組み、保育教諭の資格取得に対する支援などについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、より良い生活環境を整えるために、活発に議論を重ねていきます。

写真キャプション) 厚生環境常任委員会の委員

農林水産常任委員会

農林水産常任委員会は、農業、林業及び水産業の振興について所管しています。

5月21日から23日までの現地調査では、山形大学東北創生研究所など産学官3者による金山町での落花生の新産地形成を目指す試験栽培や、県など産学官6者による遊佐町漁村センターでのサクラムスの陸上養殖試験などについて調査しました。

また、温海町森林組合では、高性能林業機械を導入した木材の生産現場について、山形県水産試験場では、新造する漁業試験調査船「最上丸」の運用について調査しました。

写真キャプション) 農林水産常任委員会の現地調査の様子

商工労働観光常任委員会

商工労働観光常任委員会は、中小企業などの商工業、観光及び文化の振興、雇用対策、国際化に関する施策、県民活動、プロスポーツの支援などについて所管しています。

5月23日から25日の現地調査では、4月にオープンした道の駅米沢のほか、高い技術力を持ち地域産業を牽引するものづくり企業、南陽市内のワイナリーなどを調査しました。

また、天童温泉の旅館が中心となり設立されたDMC（地域旅行会社）の皆さんと、地域の魅力を掘り起こし、商品化・発信・販売につなげる取組みについて、活発な意見交換を行いました。（写真キャプション）商工労働観光常任委員会の現地調査の様子

建設常任委員会

建設常任委員会は、県民の暮らしや産業の基盤となる県土づくり、発電や広域水道の事業などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、県管理道路における冬期閉鎖区間の解除の進め方、散水消雪に係る電気料金の負担軽減に向けた取組み、凍上災の災害復旧事業の採択見通し等のほか、道の駅の整備手法と施設のあり方、空港の滑走路延伸に向けた調査の予定等について質問を行いました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、よりよい県土整備のため、活発な議論を重ねていきます。

（写真キャプション）建設常任委員会の審査の様子

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

県議会では、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、高校生をはじめとした若い方々に県議会を身近に感じてもらうため、生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催しています。

右写真は、5月15日の日本大学山形高等学校生徒との意見交換会の様子です。

※詳細は県議会ホームページからご覧いただけます。

問い合わせ◎編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話 023-630-2845

県議会ホームページをぜひご覧ください

検索ワードに“山形県議会”を挿入しクリック！

<12 から 13 ページ>

タイトル) **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

置賜 普段は入ることができないダムの中を探検！

毎年、7月21日から31日までの期間は「森と湖に親しむ旬間」です。森林や湖に親しむことで、心身をリフレッシュしながら、森林やダムに担っている役割と重要性への理解を深めてもらうため、全国でダムを中心にさまざまなイベントが開催されます。

米沢市の南部にある綱木川ダムでは、普段は入ることのできないダム内部の見学や、巡視船に乗って森に囲まれたダム湖をご案内します。水面から360度の絶景を見渡せるのはこの機会だけ。

「洪水被害の防止」、「河川環境の保全」、「水道水の供給」のために造られ、昨年10周年を迎えたこのダムを、より深く知ってみませんか。皆さん、ぜひご参加ください。

写真キャプション) ダム内部見学状況

写真キャプション) ダム湖周辺見学状況

綱木川ダム探訪親子体験学習

●日時：7月29日（日曜日）午前9時から11時30分まで

●場所：綱木川ダム管理所前広場集合

●参加対象：小学生以上（保護者同伴）

※気象状況などにより中止となる場合あり。

※先着10組程度（約20名）です。7月20日までの平日午前8時30分から午後5時15分までの間に電話でお申し込みください。

問い合わせ ◎ 置賜総合支庁河川砂防課 電話 0238-26-2231

詳しくは・・・検索ワードに“綱木川ダム”を挿入しクリック！

大阪 阪神甲子園球場でさくらんぼナイター

「日本一さくらんぼ祭り」をPRし、本県への観光誘客と、県産さくらんぼの消費拡大を図ることを目的に、「山形さくらんぼナイター」が5月17日に阪神甲子園球場で開催されました。

当日は、寒河江市の「ミスさくらんぼ」が、これから旬を迎える山形のさくらんぼ「佐藤錦」を先着2500名にプレゼントしました。

試合開始前にはセレモニーが行われ、両軍の選手にも「佐藤錦」と、県が誇るブランド米「つや姫」を贈呈しました。そのほか、球場のオーロラビジョンで、本県の名所を美しい映像で紹介するなど、山形の観光とおいしい山形を大いにPRした一日となりました。

県大阪事務所では、これからも西日本でのさまざまなイベントなどの機会を活かして、さくらんぼや、今後旬を迎える県産農産物など、山形の「美食・美酒」を観光と併せて一体的にPRしていきます。

問い合わせ ◎ 県大阪事務所 大阪市北区梅田1-3-1 800号 大阪駅前第1ビル8階

電話 06-6341-6816

観光通信 山形日和

この夏はやまがた百名山へ！

県内には、散策しながら景色や植物を楽しむトレッキングに適した魅力溢れる山が数多くあります。夏の「月山」の山頂近くでは、神秘的なクロユリやヒナザクラなどの群落が人々を魅了します。

また、「杳蔵山」は、道中に滝があり、涼を感じながら散策を楽しめます。「西吾妻山」では、初夏から盛夏に咲き誇る湿生植物や秘湯など、雄大な自然の中で心身ともにリフレッシュできます。

県では、このような素晴らしい山々を「やまがた百名山」に選定し、ホームページでコースマップなどの情報を発信しています。8月11日は「山の日」です。この機会に、山形の夏山で大自然を心ゆくまで堪能してみたいはいかがでしょうか。

写真キャプション) 山頂の月山神社とハクサンイチゲ 平成29年度やまがた百名山写真コンテスト応募作品より

写真キャプション) 西吾妻山の初夏のチングルマ 「やまがた百名山」ガイドブックより

写真キャプション) 杳蔵山の溪谷遊歩道沿いから見る一の滝

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 電話 023-630-2373

やまがた百名山の情報は・・・検索ワードに“やまがた山”を挿入しクリック！

旬のやまがた美食レシピ

空と大地と水が育む夏の一品 庄内砂丘メロン

南国に負けない強い日差し、そよぐ海風、銘酒の源になるほど豊かで良質な地下水、水はけのよい砂丘。この恵まれた環境で育った「食の都庄内」を代表する夏の果物です。

上品な甘さとなめらかな食感の「アンデスメロン」が主力品種。「クインシー」など赤肉系メロンも、しっかりとした肉質と爽やかな甘さで人気です。

今回は、「食の都庄内」親善大使の太田政宏シェフが考案したババロアをご紹介します。

「メロンのババロア」

●材料：板ゼラチン14グラム、青肉メロン果肉500グラム、卵黄（M）3個、グラニュー糖60グラム、牛乳250シーシー、生クリーム120グラム

●作り方：

1 板ゼラチンを冷水で戻す。食べ頃の青肉メロン果肉をミキサーでジュース状にする。

- 2 卵黄とグラニュー糖をボウルに入れ、少し白くなるまで混ぜる。
- 3 牛乳を鍋で沸騰する直前まで沸かし、2に少しずつ入れて混ぜ合わせ、別の鍋に移す。
- 4 3を弱火にかけ（80度以上にしない）、ヘラで鍋底から丁寧に、クリーム状になるまでよくかき混ぜる。
- 5 1のゼラチンの水気を絞って4に入れ、溶けたらボウルにこし器でこす。
- 6 5を冷水の上にのせ、ゴムべらで混ぜながら冷まし、冷めてから1のメロンを混ぜる。
- 7 生クリームを八分立てにホイップし、6とよく混ぜ合わせてからカップに入れ、冷蔵庫で固める。

問い合わせ ◎ 庄内総合支庁地域産業経済課 電話 0235-66-5725

<14 から 15 ページ>

タイトル) おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 平成 30 年 5 月 1 日現在

人口総数 1,092,632 人 (前月比マイナス 617 人)

世帯数 397,824 (前月比プラス 1,838 世帯)

催し物

オープンキャンパス情報

県内の公立学校・施設では、学校説明や施設見学、体験学習（実習）などを行うオープンキャンパスを開催します。ぜひお越しください。

県立米沢栄養大学（米沢市）

日時 8月4日（土曜日）午後0時30分から午後4時30分まで

8月5日（日曜日）午前10時30分から午後3時30分まで

電話 0238-22-7330

県立米沢女子短期大学（米沢市）

日時 第1回：7月14日（土曜日）午後0時30分～午後4時まで

第2回：7月29日（日曜日）午後0時30分～午後4時まで

電話 0238(22)7330

県立保健医療大学（山形市）

日時 7月21日（土曜日）

①午前9時30分から午後0時30分まで

②午後1時30分から午後4時30分まで

電話 023-686-6688

県立産業技術短期大学校（山形校）（山形市）

日時 7月22日（日曜日） 午前9時30分から午後4時

学生寮見学、学食体験も行います。

電話 023-643-8431

県立産業技術短期大学校（庄内校）（酒田市）

日時 7月21日（土曜日） 午前9時30分から午後0時30分まで

電話 0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門学校（山形市）

日時 7月21日（土曜日） 午前10時から午後3時30分まで（受付開始：午前9時30分）

電話 023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

日時 7月29日（日曜日）

①午前9時30分から午前11時30分まで

②午後1時30分から午後3時30分まで

電話 0234-31-2700

県立農林大学校（新庄市）

日時 7月7日（土曜日） 7月28日（土曜日） 8月18日（土曜日）

午前10時30分から午後3時30分まで

学科別で体験学習を行います。

電話 0233-22-1527

山形で看護職を目指そう！看護学生フレッシュ説明会

県内各病院の看護内容・採用条件など、求人担当者と面談できます。

◆日時 8月4日（土曜日） 午後1時から午後4時まで

◆会場 山形テルサ（山形市）

◆対象 ①看護学生、②看護職を目指す中学・高校生及びその保護者、③一般社会人、④中学・高校の進路指導担当者

◆内容

- ・ 県の看護師支援制度の紹介
- ・ 県内病院との個別相談会
- ・ 訪問看護の仕事紹介 など

看護学校等進学面談会を同時開催します。

問い合わせ 地域医療対策課 電話 023-630-2258

消防学校小学生一日研修

消防ポンプ車の乗車や放水、地震体験などの防災研修を行います。

◆日時 7月29日（日曜日） 午前10時から午後3時まで

◆会場 県消防学校・防災学習館（三川町）

◆応募期間 7月2日（月曜日）から19日（木曜日）まで

◆対象 小学生とその保護者、先着100名

◆参加費 一人500円（昼食代など）

問い合わせ 県消防学校 電話 0235-66-2022

夏の博物館まつり「ナイトミュージアム」開催！

懐中電灯の光をたよりに、展示室に隠れている博物館の宝物を探しだす「ナイトツアー」などを実施します。

◆日時 8月11日（土曜日・祝日） 午後6時から午後8時30分まで ※上記日時は入館無料

◆場所 県立博物館

◆内容 ナイトツアー、カエルの写真展示など

問い合わせ 県立博物館 電話 023-645-1111

2018青少年のための科学の祭典in(いん)山形

産業科学館をメイン会場に、県内の高校生や大学生、企業、団体などによる工作や科学実験など、科学を見て体験し学ぶことができるブースが並びます。

◆日時 8月5日（日曜日） 午前10時から午後4時まで

◆会場 霞城セントラル1階から4階（山形市）

※事前申込不要、参加費無料

問い合わせ 工業戦略技術振興課 電話 023-630-2192

お知らせ

やまがた百名山写真コンテスト開催！

“山野草で彩られた「やまがた百名山」”をテーマに、やまがた百名山に自生する草花や高山植物などを撮影した写真を募集します。

- ◆応募期間 11月30日(金曜日)まで
- ◆応募資格 プロ、アマチュア問わずどなたでも応募可能
- ◆表彰 最優秀賞1点、優秀賞3点、入選6点(いずれも副賞有)
- ◆応募方法 郵送・やまがた山(県山岳情報ポータルサイト)・Instagramからご応募ください。

問い合わせ みどり自然課 電話 023-630-3173

行こう献血！ つなごう命！

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。日本では1日約3,000人が輸血を必要としています。皆さんの善意で助かる命があります。

献血ルームSAKURAMBO(さくらんぼ)

住所 山形市香澄町2-2-36 山形センタービル5階

時間 午前9時から午後5時まで

電話 0120-107-093

他にも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。運行状況はお問い合わせください。

問い合わせ 健康福祉企画課 電話 023-630-2332

明るいやまがた夏の安全県民運動（7月20日から8月19日まで）

夏は暑さによる気のゆるみ、海や川でのレジャー、長期休暇などから、交通事故や水の事故、青少年非行や街頭犯罪などが多くなる傾向にあります。事故防止や青少年の健全な育成に県民みんなで取り組み、安全で楽しい夏を過ごしましょう。

問い合わせ 若者活躍・男女共同参画課 電話 023-630-2694

ちょこっと県政

県庁と各総合支庁・地域振興局のロビーに「県政ご意見箱」を設置しています。県民の皆さんと一緒に、豊かな住みよい山形県にしていくため、ぜひ、皆さんの率直なご意見、ご提案などをお寄せください。

また、賃金、労働時間など労働に関するお悩みは、労働相談用紙にご記入のうえ投函ください。専任の相談員が相談に応じます。

写真キャプション) こうしたらきっと地域が良くなる！

皆さんのご意見お待ちしております！

山形交響楽団演奏会・プロスポーツゲーム情報

第271回定期演奏会 エリザベート王妃国際音楽コンクール2位・岡本侑也登場

開演日時 9月1日(土曜日)午後7時/9月2日(日曜日)午後3時

出演 指揮/阪 哲朗 チェロ/岡本侑也

演目 チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲イ長調作品33 ほか

会場 山形テルサ

料金 自由席4200円ほか

◎詳しくは検索ワードに“山形交響楽団”を挿入しクリック！

問い合わせ 県民文化スポーツ課 電話 023-630-2306

サッカーJ2(じえいつー)「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時：7月21日(土曜日)午後7時/対戦チーム：アルビレックス新潟

日時：7月25日(水曜日)午後7時/対戦チーム：ファジアーノ岡山

日時：8月11日(土曜日・祝日)午後6時/対戦チーム：東京ヴェルディ

日時：8月25日(土曜日)午後7時/対戦チーム：愛媛FC

会場：NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは検索ワードに“モンテディオ山形”を挿入しクリック！

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」パシフィック・リーグ公式戦(1軍戦)

日時：7月10日(火曜日)午後6時

対戦チーム：オリックス・バファローズ

会場：きらやかスタジアム(山形市)

問い合わせ 県民文化スポーツ課 電話 023-630-2284

※前売券は、コンビニなどでお買い求めになれます。ただし、店舗により取り扱っていない場合もあります。

プレゼントクイズ

結婚を希望する方の相談やお相手探し、お見合いなど、成婚までサポートするボランティア仲人を「やまがた〇〇〇たい」と言います。〇〇〇には何が入るでしょう。

ヒント 5ページ特集1

1等 佐藤屋の乃し梅のシロップ 【5名様】株式会社 佐藤松兵衛商店（山形市）

2等 ヤマラク牛乳の塩チーズフォンデュ 【10名様】株式会社 銘菓の錦屋（川西町）

正解者の中から抽選で右記賞品（指定はできません）をプレゼント！はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③をご記入のうえ、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。あて先：郵便番号990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」7月号プレゼントクイズ係 締め切り：7月31日（火曜日）（当日消印有効） ※応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

明治のこぼれ話

初夏にみんなが待ち望むさくらんぼ。日本には明治元年、本県には明治8年に導入されました。山形県には苗木が3本配布され、県庁の構内に試植されました。置賜県にも2本配布されています。当時は全国各地で試植されましたが、ほとんどが失敗し、霜害や台風被害の比較的少ない本県だけが実績をあげたと言われ、現在の栽培につながっています。今や全国生産量の約7割を占める「さくらんぼ県」の始まりは、明治時代にあったのです。

<16 ページ>

タイトル) やまがた伝説

山形県の歴史や産業振興に深く関わる最上川には、こんな由来やエピソードがあるんですって！

「最上川の名前」はアイヌ語が関係しているかも？

日本三大急流の一つ最上川は、西吾妻山から日本海まで県内を縦断し、約400の支流が集まり

大きな流れになります。名前の由来は諸説があり、アイヌ語のモモ（崖）カミ（上）の地を流れてくる川や、「しづかなる神（もがみ=mo-kamuy）」から来ているという説もあります。

写真キャプション）源流火焰滝

「最上川を遡る船」は人力で引っ張ったんだって！

最上川は江戸時代の主要な輸送路でした。船に米や大豆、紅花などを積んで上方（今の大阪や京都）や江戸へ運び、帰りには塩や魚などを積んできました。流れに逆らって進む時は、船にロープをつなぎ、人力で引いていました。こうした苦労のおかげで、上方や江戸とつながり、物資だけでなく文化などがもたらされました。

写真キャプション）羽州川通絵図（県立博物館所蔵）上の図は一部分を拡大したものです。

山形県民の歌「最上川」は三大県民歌に数えられたんだって！

昭和5年に誕生した県民の歌「最上川」は、昭和天皇が皇太子であられた大正14年に本県においてになり、翌年の歌会始でお詠みになられたものです。昭和57年に正式に県民の歌に制定され、歌い継がれています。最上川が母なる川として県民に愛され親しまれていた証です。

県民の歌についてお話をお聞きした 渡部 功さん

山形県立博物館友の会 会員

最上川は県民の一体感を育んだ母なる川です。

県内4つの地域全てを流れる最上川は、県民の一体感を育んでいます。県民歌をおおいに歌い、歌が生まれた歴史や最上川をもっと学んでみましょう。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 平成30年7月号 604号

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課

郵便番号990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話 023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/>